

## 平成25年度 第2回 小平市地域公共交通会議

### 1 日 時

平成26年2月13日（木）14時から15時まで

### 2 場 所

小平市中央公民館 講座室1

### 3 出席者

小平市地域公共交通会議委員 14人  
事務局（都市開発部 公共交通担当） 3人  
（傍聴者 5人）

### 4 会議次第

- 1 開会
- 2 小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について
- 3 小平市コミュニティタクシー（小平南東部地域ルート）の実証実験運行について
- 4 小平市コミュニティタクシー（大沼ルート）の運行システム変更について
- 5 「（仮称）バスとタクシーのひろば in 小平 2014」の開催について
- 6 その他
- 7 閉会

### 5 配布資料

- ・小平市コミュニティバス、コミュニティタクシー実績
- ・小平南東部地域コミュニティタクシー実証実験運行ルート図、時刻表
- ・小平市コミュニティタクシー（大沼ルート）の運行システム変更について
- ・（仮称）「バスとタクシーのひろば in 小平 2014」の開催について

### 6 会議内容

副市長の挨拶、出席委員及び資料の確認、傍聴者への対応

#### 会長

それでは、平成25年度 第2回 小平市地域公共交通会議を始めます。

次第の2、報告事項「小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について」を議事とします。事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

小平市コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用状況について、説明申し上げます。

資料1の小平市コミュニティバス、にじバス乗車実績表とあります平成25年度の表をご覧ください。にじバスは平成16年1月18日から運行を開始し、10周年を迎えたところでございます。今年度の1月末までで、合計20万2千165人のご利用です。ちなみに、前年度の4月から1月末までの乗車人数は、合計で20万2千20人でしたので、前年度比で申し上げますと145人、0.07%の増という事で、ほぼ横ばいの状況です。

続きまして、小平市コミュニティタクシー、ぶるべー号乗車実績表とあります平成25年度の表をご覧ください。コミュニティタクシーぶるべー号は現在、大沼ルートと栄町ルートを試行運行しております。大沼ルートは今年度の1月末までで、合計1万3千275人、1日平均乗車人数は64.8人のご利用です。コミュニティタクシーぶるべー号は、1日平均乗車人数70人を目標に、地域協働の組織であるコミュニティタクシーを考える会を中心に取り組んでおります。大沼ルートにつきましても、目標の1日平均乗車人数70人にもう一步という状況です。なお、大沼ルートの

前年度、4月から1月末までの乗車人数は、合計で1万2千572人でしたので、前年度比で申し上げますと703人、5.59%の増です。

次に、栄町ルートですが、今年度の1月末までで、合計1万8千762人、1日平均乗車人数は91.5人です。なお、栄町ルートの前年度、4月から1月末までの乗車人数は、合計で1万9千421人でしたので、前年度比で申し上げますと659人、3.39%の減です。

次に、小平市コミュニティタクシー実証実験運行乗車実績表をご覧ください。昨年の9月18日に、小平市地域公共交通会議でご協議をいただきましたコミュニティタクシーの実証実験運行の利用実績でございます。運行を開始した11月25日から1月末までで、合計1千227人、1日平均乗車人数は28.5人です。目標としております1日平均乗車人数70人には及んでおりませんので、引き続きコミュニティタクシーを考える会を中心に、さらに積極的なPR活動を行ってまいります。資料の裏面は、これまでのコミュニティタクシーの実証実験運行を行った際の利用実績です。

続きまして、コミュニティタクシー大沼ルート集計表をご覧ください。こちらは、運行便数別、停留所別の乗降者内訳です。乗車で利用の多い停留所は順に、停留所番号15番昭和病院28.4%、停留所番号1番小平駅入口24.1%、停留所番号22番大沼公民館・図書館10.4%となっております。なお、この後ご協議をいただきます大沼ルートの運行システム変更に関連して、朝と夕の3便ずつが向かう停留所番号5番ガスミュージアム北、6番大沼通り、7番新青梅街道北の3つの停留所の乗車での合計利用人数は292人、1日平均乗車人数は1.4人です。降車で利用の多い停留所は順に、停留所番号1番小平駅入口42.4%、停留所番号15番昭和病院19.1%、停留所番号2番多摩済生病院5.2%となっております。停留所番号5番ガスミュージアム北、6番大沼通り、7番新青梅街道北の3つの停留所の降車での合計利用人数は243人、1日平均降車人数は1.2人です。大沼ルートの運賃支払いの内訳ですが、現金でのお支払いが60.5%、回数乗車券でのお支払いが39.4%、1日乗車券でのお支払いが0.1%です。大沼ルートの全体の分析として2点、小平駅に向かう利用と小平駅から出発する利用に差がある、朝と夕に向かう3つの停留所の利用が低い、という状況です。

次に、コミュニティタクシー栄町ルート集計表をご覧ください。乗車で利用の多い停留所は順に、停留所番号1番小川駅入口44.4%、停留所番号18番栄町三丁目9.2%、停留所番号20番小川西町地域センター西5.5%となっております。降車で利用の多い停留所は順に、停留所番号1番小川駅入口39.9%、停留所番号5番元中宿通り9.8%、9番十三小通り9.0%となっております。栄町ルートの運賃支払いの内訳ですが、現金でのお支払いが45.5%、回数乗車券でのお支払いが53.9%、1日乗車券でのお支払いが0.5%で、大沼ルートと比較して回数乗車券でのお支払いが多くなっております。栄町ルート全体の分析として2点、小川駅を中心とした行き来が多い、近い停留所で往復利用されている場合が多い、という状況です。

次にコミュニティタクシー鈴木町ルートの集計表をご覧ください。昨年11月25日から実証実験運行を開始し、1月末までで43営業日の集計です。少々母数が低いところですが、大まかな傾向を申し上げます。乗車で利用の多い停留所は停留所番号1番花小金井駅南口41.9%、停留所番号16番三中西14.4%、停留所番号15番鈴天通り商店街11.0%となっております。降車で利用の多い停留所は停留所番号1番花小金井駅南口51.1%、停留所番号6番三中西15.8%、停留所番号4番小平健成苑4.2%となっております。鈴木町ルート第1期全体の分析として2点、花小金井駅中心のご利用でかつ、花小金井駅から乗るよりは花小金井駅へ向かう方がより多い、既設の停留所から比較的に離れている15番や16番の停留所のご利用が多い、という状況です。鉄道や路線バスを補完する役割となっているのが見てとれますが、全体のご利用を高めるということが課題であると考えております。

利用状況の報告については以上でございます。

## 会長

ただ今の報告について、何かご意見、ご質問はございますか。

私から1点、先程の報告の中で、栄町ルートは往復利用されている場合が多いということでしたが、行きと帰りでどちらか遠回りをされて使われているということでしょうか。

#### 事務局

お手元に配布しております小平市公共交通マップをお開きください。地図上の左上にありますこげ茶色の路線がコミュニティタクシー栄町ルートです。コミュニティタクシーは一方向に循環運行しておりますので、同じ停留所で往復利用されますとどちらかが遠回りになりますが、たとえば元中宿通り停留所と東京都職員住宅東停留所が近い場所にあります。小川駅に向かう場合、東京都職員住宅東停留所から乗車し、小川駅から帰ってくる場合、元中宿通りで降車をされるというご利用のされ方が多いようです。このように近い停留所で乗車と降車を使い分けられ、往復利用をされているものと分析しております。

#### 会長

それでは、次第の 3、協議事項「小平市コミュニティタクシー 小平南東部地域ルートの実証実験運行について」を議事とします。事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

小平市コミュニティタクシー 小平南東部地域ルートの実証実験運行について、説明申し上げます。

資料 2 のルート図 3 枚をご覧ください。こちらの 3 つのルートにつきましては、昨年 9 月に開催いたしました地域公共交通会議で協議を調べていただいたルートです。前段の利用状況から、小平南東部地域コミュニティタクシーを考える会では、PR 方法など、利用促進について継続的に検討しております。その中で一つ、工夫できる点といたしまして、4 月から開始する鈴木町ルート第 2 期について、ダイヤを見直すことでまとり、本日ご協議いただきたいと思っております。

資料 2 の時刻表案をご覧ください。前段報告いたしましたように、朝 8 時 30 分の花小金井駅南口発のご利用が極めて低いということから、全体を 30 分繰り下げたいと考えております。また、鈴木町ルートの西側にございます運行事業者の営業所から出庫して花小金井駅南口に向かう際と、最終便が花小金井駅南口に到着して営業所に帰庫する際につきましても営業したいと考えております。

説明は以上でございます。

#### 会長

第 2 期からのダイヤの見直しについて説明をいただきました。1 期と 2 期のルート変更は、一部回る地域の変更であり、大枠の路線は変わらない形になります。その中で、第 1 期の状況を見て、第 2 期からダイヤを見直したいということですが、何かご意見等ございますでしょうか。

#### 委員

これまでの利用状況からして、ダイヤの見直しをした方が良くと思います。PR 活動をしている割には伸びてこないという状況です。

#### 会長

今まで何もなかったところというのは、それぞれ何らかの移動手段を既に持っていますので、新たなものを走らせても定着するまでにはそれなりに時間がかかると思います。これが便利なものだ、使えるものだとか知れ渡り、利用してもらうには、多少の時間と工夫が必要だと思います。

私も初日、現地に見に行きました。この地域は白いワンボックスカーが多く走っているので、コミュニティタクシーだと分かってもらうには何らかの目立つような工夫が必要ではないかと事務局にも申し伝えました。

この時刻表案で第 2 期からの実証実験運行を行うということによろしいでしょうか。

#### 委員

(承認)

**会長**

それでは、次第の 4、協議事項「小平市コミュニティタクシー 大沼ルートの運行システム変更について」を議事とします。事務局より説明をお願いします。

**事務局**

小平市コミュニティタクシー 大沼ルートの運行システム変更について、説明申し上げます。資料 3 と資料 3 の別紙 1、別紙 2、別紙 3 をご用意ください。

変更の理由ですが、小平市コミュニティタクシーを考える会では、コミュニティタクシーを継続的に運行する指標の一つとして、1 日平均乗車人数の目標を 70 人と設定し、利用促進に取り組んでおります。コミュニティタクシー大沼ルートは、平成 21 年 9 月 14 日から試行運行を開始し、1 日平均乗車人数は微増で推移していますが、目標の 1 日 70 人に達していないことが課題となっております。利用者アンケート調査の結果等から、運行本数を増やすことが地域全体の利便性の向上につながると考えまして、運行システムを一部変更し、更なる乗車人数の増を図りたいと考えております。

変更案ですが、現行、朝と夕 40 分ルートと日中 30 分ルートの組み合わせで合計 16 便運行しているところを、全便 30 分ルートにし合計 20 便運行するというものです。小平駅入口を始発 8 時 30 分、最終便 16 時 50 分で合計 16 便運行していますが、変更案では始発の 8 時 30 分は変わらず、最終便が 17 時 30 分となります。また、運行事業者の営業所から出庫して小平駅入口に向かう際と、最終便が小平駅に到着して営業所に帰庫する際につきましても営業したいと考えております。

この変更によって、新青梅街道より北側の 3 つの停留所が廃止となります。3 つの停留所の利用状況は、平成 24 年度 1 年間の乗車の合計で 259 人、降車の合計で 254 人です。運行日数は 245 日でしたので、大凡 1 日に 1 人程度のご利用ということになります。

これまでの経緯ですが、昨年 3 月に、この変更によって運行がなくなる 40 分ルート沿線地域へのアンケート調査を行いました。アンケート調査の結果を踏まえ、この地域の自治会役員様と意見交換会を行いました。4 月に小平市コミュニティタクシーを考える会で協議しました。5 月に 2 会場で地域説明会を開催しました。この地域説明会の内容を踏まえ、7 月に小平市コミュニティタクシーを考える会でさらに協議しました。8 月に 2 回目となる地域説明会を、同じく 2 会場で開催しました。10 月に、小平市コミュニティタクシーを考える会で最終的な案を取りまとめました。

別紙 1 をご覧ください。出庫便として、大沼公民館・図書館を 8 時 27 分に出発し小平駅入口までを営業運行し、8 時 30 分から 30 分の循環運行を行います。循環運行の最終便が 18 時に小平駅入口に到着した後、帰庫便として、小平七小入口までを営業運行します。

別紙 2 は時刻表案、別紙 3 は現行の時刻表になります。

説明は以上でございます。

**会長**

朝と夕に回っている 40 分ルートを廃止し、現行の昼間ルートで終日循環運行するという変更内容ですが、何かご意見等ございますでしょうか。

**委員**

40 分ルートがあるために少しわかりづらい時刻表が、30 分ルートにすることによって 1 つの停留所の時刻表は決まったものになってきます。ご利用の方には覚えていただきやすくなり、利便性の向上が図れるものと思います。

**会長**

いつから変更を予定していますか。

**事務局**

5 月の連休明けを目途にこの変更内容で開始したいと考えております。

会長

5月連休明けから、このシステムで運行するということによろしいでしょうか。

委員

(承認)

会長

それでは、次第の5、協議事項「バスとタクシーのひろば in 小平 2014 の開催について」を議事とします。事務局より説明をお願いします。

事務局

バスとタクシーのひろば in 小平 2014 の開催について、説明申し上げます。  
資料4をご覧ください。会長をはじめ本地域公共交通会議から、公共交通の利用促進策を実施したらどうかというご意見をいただき、開催案を事務局より提案いたします。

開催目的ですが、地域の方々に、バスやタクシーなどの公共交通が優しく、身近な乗り物であることを改めてPRすることで公共交通の利用につなげ、過度にマイカーに依存しない、持続可能な地域づくりに貢献するということです。

開催時期ですが、平成26年の4月または5月のいずれかの土曜日の1日、午前11時から15時までを考えております。

主催は、本地域公共交通会議でございます。

開催場所の候補として、小川駅東口から徒歩3分程度の場所にありますブリヂストンTODAYの駐車場でございます。

内容ですが、市内を運行しております各交通事業者様の車両等を展示しての車内見学や写真撮影、各交通事業者様によりグッズの販売、バスの乗り方教室、パسمオ・スイカタッチラリー、小平市長を招きまして地域協働によるコミュニティタクシーについての講演などを行いたいと考えております。

調整事項ですが、市内を運行しておりますバス事業者様及びタクシー事業者様に参加を呼び掛けまして意向を確認したうえで、開催の可否、駐車する車両数、グッズ販売のスペースの調整などを行いたいと考えております。交通安全対策については、各交通事業者様と協議します。

開催後の総括及び評価ですが、バスとタクシーのひろば in 小平 2014 の開催後に地域公共交通会議を開催し、総括を行い、今後の公共交通利用促進策について議論を行っていきます。

本日の地域公共交通会議開催にあたりまして、市内を運行しておりますバス事業者様6社及びタクシー事業者様6社に参加意向のアンケートを事前に取りらせていただきました。現段階では5月17日土曜日又は24日土曜日ですと、ほぼすべてに近い交通事業者様にご参加いただけることになりました。また各交通事業者様からのアイデア等をお聞きしたところ、子ども用の制服を着用しての写真撮影会や風船の配布、バスミニカーのペイント教室など、さまざまにアイデアを頂戴しております。本日は、地域公共交通会議主催で実施するという事についてご協議いただきたいと存じます。

説明は以上でございます。

会長

本地域公共交通会議を主催として開催することについてご意見等ございますか。

委員

バスに触れる良い機会ですので、ぜひ協力させていただきたいと思います。

会長

本地域公共交通会議を主催として開催するという事によろしいでしょうか。

委員

(承認)

会長

具体的に関係者の打ち合わせなどはどのように予定されていますか。

事務局

各交通事業者様から、このイベントに関するご担当者様とご連絡先を伺っておりますので、実行委員会という形で改めて調整させていただきたいと考えております。

会長

協議事項が3つ終わりました。その他で何かありますでしょうか。

事務局

この場をお借りしまして、3点ご報告申し上げます。

1 点目は運賃についてでございます。小平市のコミュニティ交通はその性格上、必ずしも消費税率の改定に連動させなければならないものではないという考え方から、にじバス、ぶるべー号ともに4月の消費税率改定を受けての運賃改定はいたしません。大人150円、子ども80円のまま据え置きとさせていただきます。

2 点目はぶるべー号大沼ルートの変更についてでございます。コミュニティタクシー大沼ルートは、移動円滑化基準適用除外の認定を受けまして、トヨタハイエーススーパーロングでこれまで運送しておりました。12月末に、かねてより地域の方々からご要望のありましたぶるべー号栄町ルートと同車種の、トヨタハイエース福祉タクシー仕様車タイプⅡへの変更をいたしました。この車両は、乗降口につく大型のステップ板、車内の握り棒、電動車いすのまま利用できる電動リフト等が標準で装備されている他、シートが横並びとなっております。車内空間がとても広く感じられ、乗り降りしやすいとの好評をいただいているところでございます。なお、皆様に書面にてご協議いただきました結果、運行事業者の方でこの車両の購入にあたりまして地域公共交通確保維持改善事業補助金の交付が受けられるよう、現在手続きを行っているところでございます。どうもありがとうございました。

最後に都営バス梅70系統についてでございます。都営バス梅70は、東京都と沿線の5市1町にて協定を締結して運行しておりますが、平成26年度の運行につきましては、東京都と5市1町で協議を行いました結果、赤字額削減のため減便して運行することで協定を締結する方向となっております。協定が締結されますと、4月以降、路線全体では1日で12便の減便、小平市内では1日で4便の減便となる予定でございます。

以上でございます。

会長

ありがとうございました。ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。特にないようでしたら、本日の報告事項及び協議事項はすべて終了いたしました。

以上で、平成25年度 第2回小平市地域公共交通会議を閉会します。